

家庭菜園

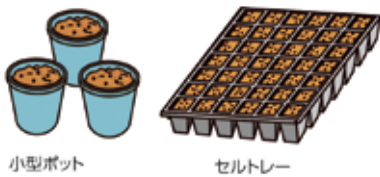
あなたもチャレンジ



園芸研究家 成松次郎

シソ さまざまな用途を楽しむ

図1 苗作り



小型ポット

セルトレー

図2 畑の準備



堆肥

化成肥料

図3 植え付け

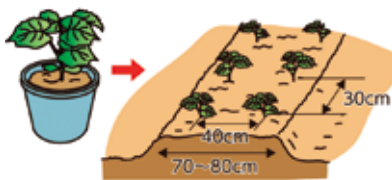


図4 収穫



大葉

穂ジソ

開花中

結実中

栽培カレンダー

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11
中間地		●	●	▲	■	■	■	■	■

●種まき ● 苗作り ▲ 植え付け ■ 生育 ■ 収穫

青シソの若葉は大葉と呼ばれ薬味や精進揚げに、赤シソの葉は梅漬けに利用されます。シソの発芽適温は20～25度、生育適温は20～23度で、低温には弱いが高温には強い野菜です。また、シソは短日(昼)の時間が夜の時間より短い季節に花を付ける性質があり、9月ごろから穂が出てきます。シソは生育に応じて収穫方法が変わり、子葉、若葉、花穂、未熟果はそれぞれ芽シソ、大葉、穂シソ、実シソと呼んでいます。これを、シソの七変化といえます。

「栽培時期」 中間地では4、5月が種まきの適期で、収穫期は6～10月

です。

「品種」 大葉の品種は、葉色が鮮緑色で広卵形をして大きく、葉縁の欠刻が深く、葉面に細かい縮みがある「青しそ」「青ちりめん」があります。赤シソの葉取り用は「赤ちりめん」など葉色が赤紫色で葉形の大きい品種を用います。

「苗作り」 直径7・5～9cmの小型ポリポットに4、5粒の種をまきます。セルトレーでは72穴のトレーを使い、2、3粒まきます(図1)。発芽後2回に分けて間引き、1回目は本葉が開く頃に、成長の遅れた株、密になっている所の株を抜き取ります。2回目は本葉3枚の頃に1本にします。

「畑の準備」 幅70～80cm幅のベッド(栽培床)で栽培する場合には、事前に1平方m当たり苦土石灰150gを菜園全体に散布して耕しておきます。その後、堆肥2kgと化成肥料(NPK各成分12%程度)200gを施します(図2)。

「植え付け・追肥」 本葉5、6枚になったら、条間40cm、株間30cmに植え付けます(図3)。その後2週間おきに1平方m当たり30g程度の化成肥料を条間にまき、根元に軽く土寄せします。

「病害虫の防除」 病気はほとんどありませんが、害虫ではハダニ、ハスモンヨトウなどがあり、アファーム乳剤などの登録農薬で防除をします。

「収穫」 葉が10枚以上になってから、下の方の葉の付け根からもぎ取るように摘み取ります。収穫するとしおれが早いので、水に挿しておきましょう。穂シソの収穫期は先端の花穂が5、6輪開花している頃に穂先から15～20cmで切り取ります(図4)。赤シソは紫、青シソには白い花が付きます。

※関東南部以西の平たんな地を基準に記事を作成しています。
※品種は情報提供として記載していますので、JAで取扱いがない品種もごまします。

バケツでできる! 身近なお米づくりを体験しよう!

第35回

バケツ稲づくり



申し込み受付中!

お米や農業の魅力を感じていただくため、JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、実施しています。

バケツ稲づくりセット内容

- 1 種もみと肥料セット 発芽率の高い種もみを選んでます
- 2 お名前シール 児童のお名前、栽培開始日を記入してバケツに貼付できます
- 3 バケツ稲づくりマニュアル 児童向けにわかりやすく栽培方法が書いてあります

※バケツ・土は別封しておりません。

JAから申し込み

お申込み先 **生活振興課 ☎52-6533 平日8:30～17:00**



ネット予約受け付け開始日

対象: 学校・団体・法人など **令和5年1月10日(火)～**
対象: 個人 **令和5年3月6日(月)～**
●バケツ稲づくりセットは、令和5年3月6日(月)から順次発送します。

インターネットお申し込み先

インターネットお申し込み先 **パソコン**で検索して「バケツ稲づくりセットのお申し込みフォーム」からお客情報を入力の上、送信してください。
学校・団体・法人などの場合 1梱包につき、お届け先地域別宅配料金をご負担いただきます(着払い)。 ※送料は、現金のほか郵券(切手)でのお支払いが可能です。
個人の場合 最大5セットまで、全国一律276円の送料をご負担いただきます(着払い)。 ※送料は現金のほか郵券(切手)でのお支払いが可能です。
お問い合わせ ※電話・FAXでのお申し込みは受け付けておりません。
JAグループ バケツ稲づくり事務局 TEL.03-6281-5822 平日10:00～17:00

詳しい内容、お申し込み方法、お問い合わせはQRからアクセスできます。

